

導入までの概要は、以下の通りです。ご使用になるコンピュータのデータ構造やネットワーク構築について、よく分からない場合は「資料編 2 導入の手引き」を参照の上、インストールしてください。

Win9x系の場合は、インストーラ【InstMsiA】を次の場所から入手して、インストールします。

<http://download.microsoft.com/download/WindowsInstaller/Install/2.0/W9XMe/EN-US/InstMsiA.exe>

WinNT系の場合は、インストーラ【InstMsiW】をインストールします。(2000/XPはインストール不要)

<http://download.microsoft.com/download/WindowsInstaller/Install/2.0/NT45/EN-US/InstMsiW.exe>

【ActivePerl-5.6.1.635-MSWin32-x86.msi】を次の場所から入手してインストールし、再起動します。

<http://downloads.activestate.com/ActivePerl/Windows/5.6/ActivePerl-5.6.1.635-MSWin32-x86.msi>

【kakasi-2.3.4.zip】を次の場所から入手し、解凍してインストールします。

<http://kakasi.namazu.org/win32/kakasi-2.3.4.zip>

【nmz2012.exe】を次の場所から入手して、インストールします。

<http://www.namazu.org/win32/nmz2012.exe>

【d2txt108.lzh】を次の場所から入手し、解凍してC:\namazu\binに必要なファイルをコピーします。

http://www31.ocn.ne.jp/~h_ishida/xdoc2txt.html

システム設定ツール【sachi.exe】をデスクトップ上などにコピーし、解凍します。

デスクトップ上に作成された【setup】フォルダを開き、【dataA】フォルダと【indexA】フォルダを、データドライブとして使用するハードディスクドライブのルートディレクトリへコピーします。

【httpd142k.zip】を次の場所から入手し、解凍してC:*以下に同名フォルダのまま、上書きします。

<http://www.st.rim.or.jp/~nakata/>

サーバを以下のように設定します。「ドキュメントルート」「D:\dataA」「ポート」「80」

「デフォルトインデックス」「sachi.html」その後、サーバが自動起動するように設定します。

再起動してサーバを稼働させます。

デスクトップ上に作成されている【setup】フォルダ内の【群】(は、使用するハードディスクドライブ名)フォルダ内にある【.namazu.rc】ファイルをC:\httpd142k\cgi-binフォルダへコピーします。

デスクトップ上に作成されている【setup】 【群】 【ご使用のOSに応じたフォルダ】の【mknmz.job】をC:\WINDOWS\Tasks(「タスク」の場合あり)へフォルダ(Win2000・XPは、C:\WINNT\Tasks)にコピーします。

【mknmz.job】ファイルを使って、タスクの内容を設定します。(Win2000・XPの使用環境によっては、パスワード設定が必要となります。)

タスクスケジューラ [C:\WINDOWS\Tasks (Win2000・XPはC:\WINNT\Tasks)] のショートカットを作ります。

サーバ機のネットワーク環境を設定します。(「クラスC」で設定するようにしてください。)

サーバ機のブラウザを設定します。ホームページのアドレスを [http://localhost] とし、サーバ機のアドレスをプロキシを使用しないように [例外] の設定に書き加えます。

(省略可) クライアント機のブラウザを設定します。と同様に [例外] の設定を書き加えます。

(省略可) クライアント機のブラウザを開き、サーバ機へのリンクを設定します。

使用するハードディスクドライブの【dataA】フォルダに、コンテンツデータをコピーします。

タスクスケジューラへのショートカットを開き、【mknmz.job】ファイルを実行します。

サーバ機のデスクトップ上の「全文検索スタート」のショートカットをクリックすると、検索画面のトップメニューが表示されます。キーワードを入力して、検索できるかどうかを確認します。

「資料編 3 運用の手引き」を参照の上、管理事項や制限事項などをよく確認してください。